

令和2年度予算について
～豊かな大阪の実現に向けて～

令和2年3月
大阪市長 松井 一郎

1 . 令和 2 年度市政運営の基本方針

令和2年度市政運営の基本方針

豊かな大阪をめざした政策推進

市民の暮らしの満足度向上をめざした市政改革

新たな自治の仕組みの構築

2 . 令和2年度予算の姿

予算編成方針

予算編成の原則

補てん財源に依存することなく収入の範囲内で予算を組むことを原則とするなど、将来世代に負担を先送りすることのないよう、財政健全化に着実かつ積極的に取り組むとともに、限られた財源のなかで一層の選択と集中を全市的に進める

予算の概要

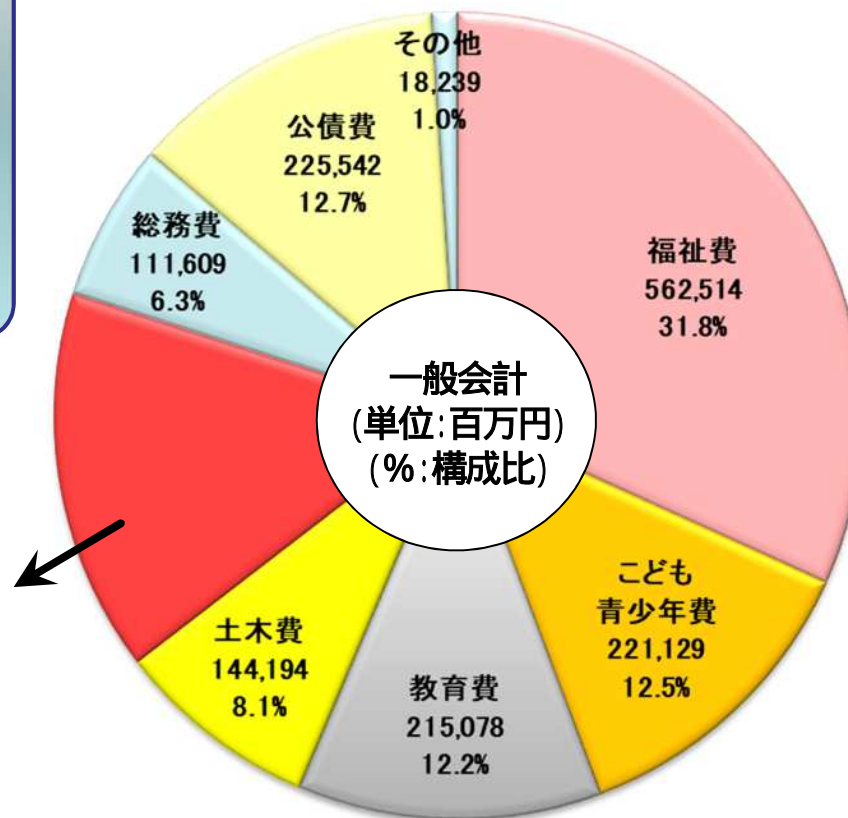
令和2年度当初予算

予算総額：3兆4,487億円
 (対前年度比 3.5% 1,242億円)

うち一般会計：1兆7,700億円
 (対前年度比 3.6% 653億円)

内 訳	予算額	構成比
健康費	57,350	3.2%
住宅費	50,794	2.9%
消防費	40,514	2.3%
経済戦略費	36,361	2.1%
環境費	34,499	2.0%
港湾費	29,497	1.7%
大学費	20,157	1.1%
議会費	2,501	0.1%

目的別歳出予算



予算の姿

豊かな大阪をめざした政策推進

府市一体となった成長の実現

- ・ 大阪の成長戦略の実行
- ・ 都市インフラの充実
- ・ 防災力の強化
- ・ 成長産業の育成

市民サービスの拡充

- ・ 子育て・教育環境の充実
- ・ 暮らしを守る福祉等の向上
- ・ 各区の特色ある施策の展開

市民の暮らしの満足度向上をめざした 市政改革

ICTを活用した市民サービス向上

官民連携の推進

効果的・効率的な行財政運営

ニア・イズ・ベターの徹底

人材育成・職場力の向上

働き方改革

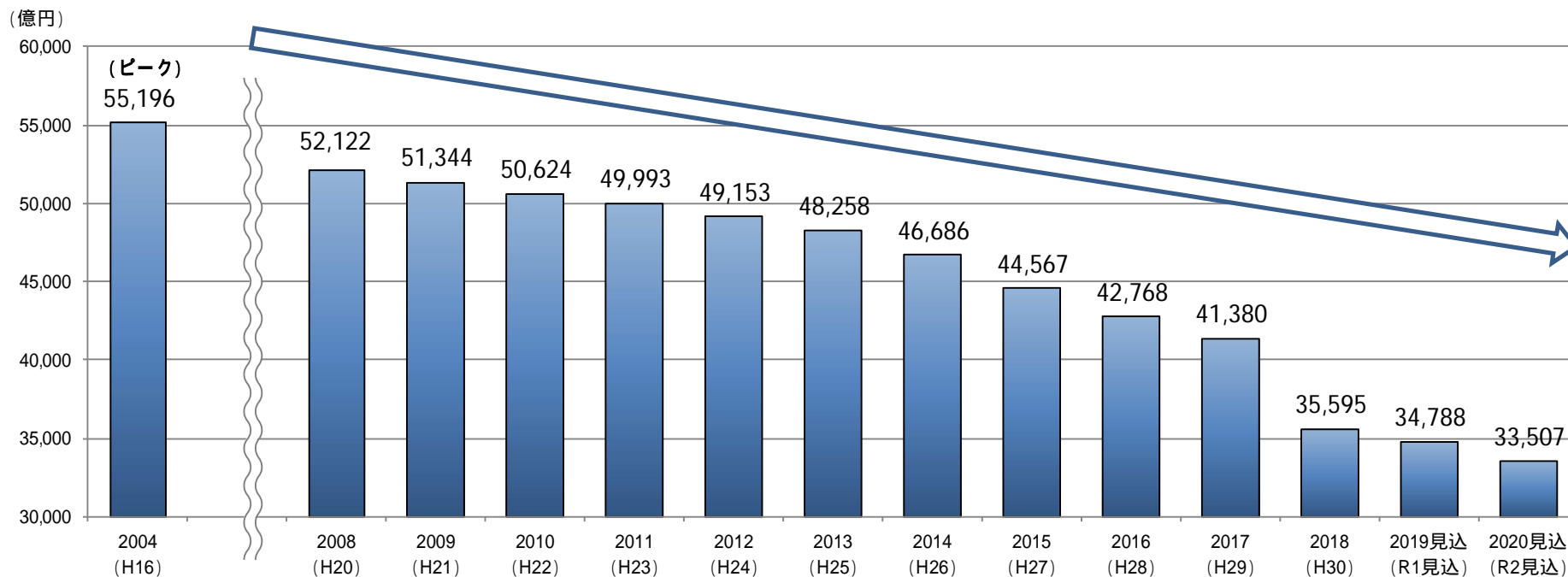
府市連携・一元化の推進

財政健全化を着実に推進

市債残高の着実な縮減などに取り組むとともに
通常収支の状況を踏まえた予算を編成
[通常収支の状況 30億円の不足]

将来にわたり活気ある豊かな大阪をめざす

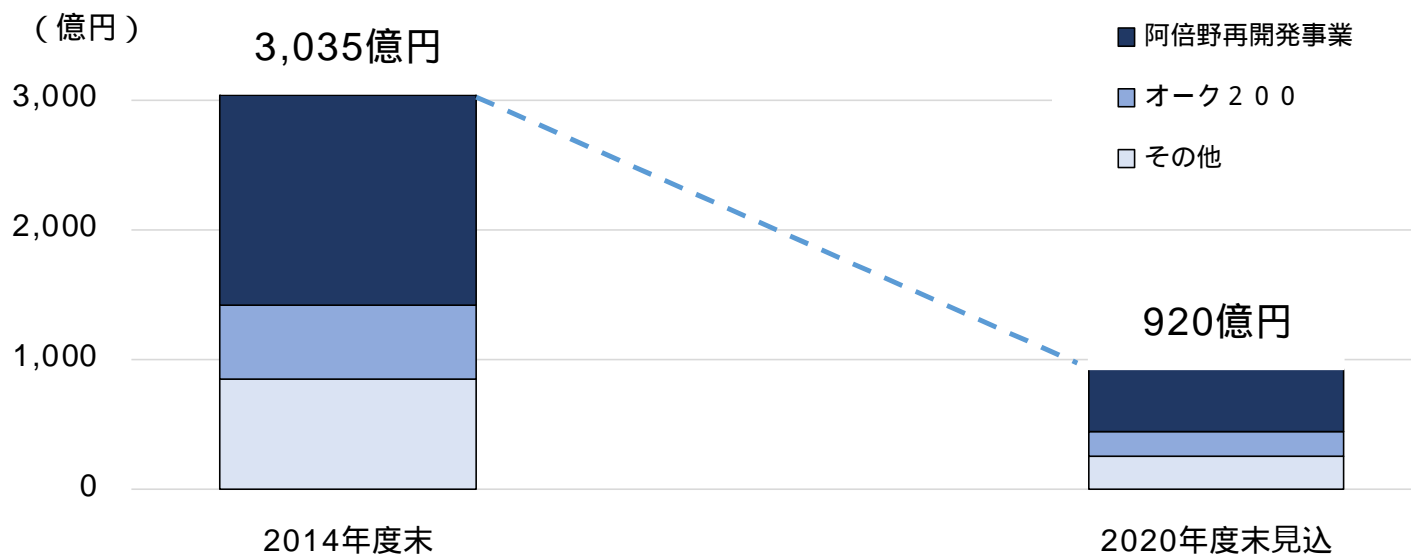
予算の姿（市債残高の推移）



➤ 全会計ベースは16年連続して対前年度比較で減

（ 一般会計ベースは7年連続して対前年度比較で減
後年度に地方交付税で全額措置される臨時財政対策債を除くと16年連続して対前年度比較で減 ）

(参考) 処理が進む財務リスクに係る負債



阿倍野再開発事業やオーク200といった顕在化した財務リスクは、この間の市政改革の取組みにより着実に処理が進んでいる(1)

なお、潜在的財務リスク(ATCに係る損失補償など)については、269億円(2)となっている

(1) 将来の償還に備えた基金を除く実質的な負債

(2) 2019年度末時点の金融機関借入金残高見込であり、会社が返済できない場合大阪市の負担が生じる恐れがある。

